

■第19回羽山台空家対策プロジェクト会議を開催しました！

令和元年5月13日（月）第19回羽山台空家対策プロジェクト会議を竹の原公民館にて開催し、次の内容について協議しました。

【協議事項等】

- 令和元年度プロジェクト組織について
→プロジェクト組織構成の変更点を説明
- 将来の空家予防対策調査について
→次回会議にて報告予定。
- 羽山台住まいるノート活用の進め方について
→HPや広報などの宣伝や、モニターを中心に広めたらどうかなどの意見がありました。メンバーも内容を理解して、説明できるようにしておきたいです。
- 令和元年度取り組みテーマについて
 - ①ローカルルールにおける積極的な活動
 - ②空家の発生予防活動
 - ③他地域の団体との積極的な交流や情報交換三つのテーマについて話し合いました。
- 空家所有者判明者に対する相談及び購入要望空家紹介対応について
→その後の経過報告がありました。

【次回の開催について】

第20回 令和元年6月13日（木）13：30～竹の原公民館にて開催。

【メンバー紹介】

事務局長 平良 幸雄

活動を通じて感じたこと

第一に感じたことは、空家を解消するのに長い時間を必要とすることです。所有者の抱える問題、制度、法律の制約等、簡単に意思決定ができません。

プロジェクトでは、判断材料を提供し、きめ細かくフォローすることが必要と感じています。

プロジェクトの今後について

空家を発生させない取り組みがカギになっていくと思います。空家予防の重要テーマとして、住まいるノートの活用、空家予防対策調査を検討しています。校区の皆さんにもぜひ活用していただきたいと思います。

【編集後記】

『突然、市役所から「空家の適正な管理について」の手紙が届いて驚いた！』
大牟田市外に居住されている A さん(空家の唯一の相続権者)からの第一声。

2015 年 11 月にご近所にお住まいの方から相談を受けた空家。それから 3 年
が経過し、屋根が崩落しました。

所有者とその長女(納税管理人)は亡くなり、所有権も複雑で相続放棄され
た方も多く、長年の懸案物件です。

A さんは、『私も相続放棄しようかな』と迷われましたが、市の担当者や弁護
士さんの助言を受け入れられ、『これ以上、近隣住民や土地所有者にご迷惑を掛
けられません』と解体を決意。現在は更地になり、安心・安全の確保と住環境
の改善が図られました。

解体完了後には、『色々ご心配をお掛けしました』と挨拶に来られました。

いま、羽山台空家対策プロジェクトの活動と A さんみたいな方との出会いが、
私の原動力となっています。